



ゆり中だより

三田市立ゆりのき台中学校

令和6年10月3日 第6号

＝学校教育目標＝

「命」と「心」を大切に、「夢」を描き、輝かしい「未来」に向け前進する生徒の育成

コミュニティ・スクールって何？

ゆり中も皆さんもたくさんの人によって支えられています

新学期が始まり、9月になっても暑い日が続きました。ゆり中HPにも中秋の名月にちなみ、「うさぎさんはお月見団子よりもかき氷がうれしいかもしれません」とありましたが、ここ何年かですっかり9月は夏になってしまっています。そんな暑い9月でしたが、中間考査、体育大会の練習、三田市新人大会と、自分自身の体調をしっかりと管理しながら、皆さん活躍していましたね。朝の登校時や学校内で出会った時の気持ちのいい挨拶をはじめ、新人大会でお願いしていた、感謝と相手へのリスペクトの気持ちをもって大会に臨んでいた皆さんの姿がとてまかつよく印象に残っています。応援に訪れた会場では、多くの保護者の皆様から「校長先生応援ありがとうございます」「忙しい中ご苦労様です」等丁寧なご挨拶をいただきました。そうした保護者の皆様の思いを受け、なお一層顧問共ども生徒の心身の向上、支援に努めてまいりたいと思います。

さて、ゆりのき台中学校並びに生徒の皆さんを支えて下さっている様々な機関や人達がおられることを皆さんは知っていますよね。一番わかりやすいのはPTAでしょうか。ゆり中であれば、図書や緑化のボランティア、ウッディカルチャータウンでは、青少年健全育成協議会（青少協）の方々が皆さん支えて下さっています。今号では「コミュニティ・スクール」を紹介したいと思います。

入学式、卒業式、体育大会や文化祭をはじめとした学校行事などに「来賓」として来校された方が、「学校運営協議会委員〇〇様」などと紹介されたのを聞いたことはあると思います。「地域や小学校で見たことある人や」「何をしている人？」など感じた人も多いでしょう。

三田市教育委員会から出されている資料から紹介しますね。

＜令和6年度版 コミュニティ・スクールが変わる～「開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ～三田市教育委員会＞から一部抜粋

1 コミュニティ・スクールとは？

⇒ 「学校運営協議会」を設置している学校

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5」に規定による「三田市学校運営協議会規則」に基づいて設置

2 学校運営協議会とは？

⇒ 「学校運営やそのために必要な支援について熟議するための合議制の会」

校長の意見に基づいて、三田市教育委員会が任命する保護者や地域住民等からなる委員で構成

3 学校運営協議会の役割！

⇒ 学校と家庭、地域とが、学校の教育目標や「めざす子ども像」等のビジョンを共有し、その実現に向けて共に協働していくための仕組み

これをゆり中の形に当てはめていくと、学校長の示す、紙面上にもある「学校教育目標」＝＜「命」と「心」を大切に、「夢」を描き、輝かしい「未来」に向け前進する生徒の育成＞の目標を達成するために、具体的な学校経営方針を示します（HPに掲載）。そして、こうした運営の方針を委員の皆さんに承認をいただき、それをもとに行う授業や行事など学校の様子を見ていただきます。生徒の皆さんや保護者の方の学校評価アンケート結果をもとに、来年度に向けての意見をいただき、次年度に生かしていく役割を担っていただいています。また、生徒を学校、家庭だけで育てるのではなく、積極的に地域に出し、地域の力で育ててもらうことにも力点を置いています。アフターコロナの昨年から地域の行事やイベントに参加し、地域の方と関わりを持つ中で、生徒の自己有用感が高まり、また地域を「ふるさと」として捉え、将来の地域を担う人材育成にもつながる狙いを持っています。こうした学校長の思いを委員の皆さんは理解し、学校と家庭、学校と地域それぞれがWIN・WINの関係になるよう日々尽力して下さっています。ゆり中では、5人の教員と今年度9人の方が委員として活動して下さっています。地域コーディネーターや学校支援ボランティア、PTAや地域の主任児童委員の方たちです。そして運営協議会には毎回生徒代表として、生徒会のメンバー数人が参加してくれています。協議会に生徒が参加しているケースは大変珍しいそうです。協議会の目的は「真ん中にいる子どもを周囲の大人が支える」です。その真ん中の生徒の代表に参加してもらい、意見交流を図ります。

▲今年度第1回目の協議会の様子（HPは削除）

≪ 10月の行事予定 ≫

日	曜	行事等	講師	給食
1	火	専門委員会	SC・子サ	1・2・3
2	水	全校集会	SSW・子サ	1・2・3
3	木	ノ一部活デー	子サ	1・2・3
4	金			1・2・3
5	土	三田市新人大会（陸上）		
6	日			
7	月	体育大会準備 ノ一部活デー	子サ	1・2・3
8	火	第33回体育大会 ノ一部活デー	SC	1・2・3
9	水	第33回体育大会（予備日）	SSW・子サ	1・2・3
10	木	部活可	子サ	1・2・3
11	金			1・2・3
12	土	丹有新人大会 三田市総体駅伝		
13	日	丹有新人大会		
14	月	吹奏楽部定期演奏会（郷の音） ハニ-FM（3年）		
15	火	ノ一部活デー	SC・子サ	1・2・3
16	水		SSW・子サ	1・2・3
17	木	ノ一部活デー 定時退勤日（17：30）	子サ	1・2・3
18	金			1・2・3
19	土			
20	日	ウッディタウン運動会（けやき台中）		
21	月	ノ一部活デー	子サ	1・2・3
22	火		SC・子サ	1・2・3
23	水	丹有駅伝 合唱練習開始	子サ	1・2・3
24	木	わくわくオーケストラ教室 ノ一部活デー 定時退勤日（17：30）	子サ	2・3
25	金			1・2・3
26	土			
27	日	ゆりフェス		
28	月	ノ一部活デー	子サ	1・2・3
29	火		SC・子サ	1・2・3
30	水	人権講演会	SSW・子サ	1・2・3
31	木	ノ一部活デー	子サ	1・2・3

子サ：子どものサポーター SC：スクールカウンセラー
SSW：スクールソーシャルワーカー〔最終下校〕1～11 17：30
≪11月の主な予定≫ 15～31 17：15
1：文化祭 5：三田市音楽会 6：3年実力考査
7：専門委員会 8：全校集会 18～20：期末考査
21：ハニ-FM（1年） 28：生徒会選挙立会演説会

私自身、学校運営協議会が学校からの説明の場で終わることなく、真ん中にいる生徒が何を考え、それを学校が、地域がどう支援していくのかを議論する場にしたいと考えています。実際この協議会の委員さんからアドバイスをいただき、生徒たちの地域イベントへの参加が始まりました。また最近では、ゆりのき学級の保護者同士のつながりを考えませんか、と意見をいただき、この夏休みに卒業生の保護者に来ていただき、進路の悩み等縦と横のつながりを持つことができました。

ここでは協議会に参加した生徒や委員の方の思いを紹介します。

～生徒～

○生徒会に入るまでは学校運営協議会の存在さえも知りませんでした。私たちの知らないところで多くの大人の皆さんが私たちの学校生活を支えてくださっていることがわかり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。協議会で私たちは地域とのかかわりを大切にしたいことを伝えました。その時皆さんは温かい言葉をかけてくださり、生徒会の活動により一層力を入れるきっかけとなりました。

○今回初めて学校運営協議会に参加して、生徒会としての学校での活動、私たちが実現させたいことを地域の方々や先生方と共有することで、改めて学校と地域のつながりの深さを感じ、私自身も地域の一員であることを改めて自覚しました。私は、これから学校をさらに良くしていくために地域の方にお手伝いをしていただくだけでなく、その分私たちが地域に貢献できることを考え、この街全体でさらに交流を深めていくことがより良い生活に繋がっていくと思いました。

○初めは学校運営協議会というもの自体を知らなかったけれど、初めて参加してみて今まで行事を楽しんでいたのは私たちが知らないところで色々なことを話し合ってください、準備して下さって支えていただいているからだということを感じることができました。協議会の方々が真剣に私たちの意見を聞いてくださったことで、私たちも思いが伝わるように努力することができ、物事を考える力がついたと思います。

～委員～

○ゆりのき台で暮らし、人と人の繋がりを持って、子どもが育つ環境に関われることは、保護者として、そして地域の者として、とても光栄なことだと思っています。私は、ゆり中 PTA 役員を担った年から学校運営協議会に参加させていただいています。子どもたちの「やりたいこと」の実現のために、学校・地域・家庭が連携をとり、無理なくサポートできることを意見しています。学校が地域や保護者を信頼してくださるからこそ、有意義な話し合いの場になっています。

ゆり中での活動を通して、あかしあ台、学園の方々とも繋がることができ、子どもを中心に人の輪が広がっていることを実感しています。

○私は小学校で地域コーディネーターをしています。学校支援として、ボランティア活動に関わる中、子どもたちの気持ちにそっと寄り添うことができたらいいな、と思いながら日々子どもたちと向き合っています。子どもたちが小学校を卒業した後も、中学校の学校運営協議会委員になることで、引き続き中学での子どもたちの成長を見届けることができる環境にとっても嬉しく思っています。

ゆりのき台中学校の学校運営協議会は、地域で活躍されている大人だけでなく、志の高い生徒会の方々が一緒に参画されています。生徒会の皆さんが抱いている思いや願いを、学校と地域が受け止め、一緒に取り組んでいこう！という交流の場になっているところが、学校運営協議会の大きな魅力だと感じています。生徒会や学校、地域が起こす化学反応に、毎回刺激を受けています！

10月のゆり中

第33回 体育大会 8日（火）

昨年に引き続き3学年そろっての体育大会を開催します。また酷暑の中、熱中症、生徒の体調面を考慮し、昨年よりも開催日を大幅にずらし、初めて10月に実施します。

生徒会の体育大会スローガンは「Attack～勝っても負けても驚きの笑顔に～」に決まりました。みんなで積極的に取り組み、勝ち負け関係なく、楽しんで笑顔溢れる体育大会にしようという思いが込められているそうです。生徒会はもちろんですが、3年生が最高学年の自覚を持ち1・2年生を引っ張っていこうとリーダーシップを発揮してくれています。ここではその3年生の各ブロックのリーダーの思いを紹介したいと思います。

○緑ブロック 3-1

僕は団長として、本番の結果ももちろん大切ですが、練習などを通してクラスとの絆を深めていくことも大切なことだと思うので、少しの練習時間を大切に、体育大会をみんなで盛り上げていきたいです。

○黄色ブロック 3-3

団長として早く集合したり、周りの空気を盛り上げたりしていきたいという思いで団長をしています。

○赤ブロック 3-2

団長としてクラスをまとめて、クラスの仲の良さ、一人一人の個性を引き出して最高の体育大会にしていきたいです。

○ピンクブロック 3-5

この体育大会ではまずみんなで楽しむことを一番大事にしていきたいと思います。個人としては団長としてブロックをしっかりとまとめられるように自分で気づいて声をかけて、明るい雰囲気を作っていきたいです。

○オレンジブロック 3-4

この体育大会に向けて3年生が主に1、2年生を引っ張っていけるように積極的に声を出し見本になります。全力で競技に取り組み、そして全力で楽しむ姿を見せます。

○青ブロック 3-6

青ブロックの団長として応援する時はしっかりと声を出し、整列の時にはしっかりと指示が出せる団長として頑張ります。

体育大会表紙絵 優秀作品 ※最優秀作品は次号掲載予定



3年生の熱い思いがひしひしと伝わってきます。1・2年生の皆さん、3年生の先輩を信頼してついていってください。3年生の皆さん、後輩たちは先輩をしっかり見て、ゆり中の伝統を受け継いでいてくれますよ。クラスが団結し、一人一人が達成感を得られる体育大会にしてください。大いに期待しています。

（生徒の皆さんのパフォーマンスはもちろんですが、個人的には、各ブロックの先生方の気合い！？も楽しみにしています。）

丹有新人大会 12日（土）・13日（日）

丹有駅伝大会 23日（水）

先日三田市新人大会が各会場で行われました。（新人大会の様子は、本校ホームページ、学校トピックスに掲載しています）各競技、できるだけ多くの選手の皆さんの活躍を見ようと会場を訪れました。各会場では、壮行会でも言った、家族、チームメイトや大会を支えて下さる審判をはじめ関係者の方への「感謝」、相手チームなどへの「リスペクト」の気持ちをもって試合に臨んでいたことに感心し、誇りに思いました。また勝利だけにこだわるのではなく、競技にひたむきに打ち込む真摯な態度を見ていると、確実に皆さんが夏休みから成長していることを実感しました。「ゆりのき台」「YURINOKIDAI」のユニフォームが大きく輝いて見えました。丹有大会においても、三田市の代表である自覚とプライドを持ち、引き続き「感謝」と「リスペクト」の気持ちをもって大会に臨んでください。皆さんの活躍を祈っています。